

しろうさぎ



vol.40

2015.4.1

島根大学
SHIMANE UNIVERSITY



CONTENTS

特集 『スチューデントドクター』

- 「地域の方々に生まれ、成長してほしい」
(医学部長 大谷 浩 先生)
- 「[学ばせていただいている]ということを実感して」
(スチューデントドクター認定証授与学生
赤川 理恵 さん、秋好 瑞希 さん)

●表紙の説明は次ページをご覧ください >>>>

- *病院探検隊！～手術部編～
- *病院のまめ知識
～骨粗しょう症を予防するための運動について～
- *私のここだけの話
- *ニュース&トピックス
- *留学生から見た「出雲の不思議」
- *イベント等のお知らせ

応援
メッセージ

採用2、3年目の先輩から新採用のみなさんへ

学生から社会人になる違いとして、主体性を持つことが挙がるかと思います。今までは教わる受動的な立場であったのが、自ら課題を見つけ、学んでいく姿勢が必要になります。

もちろん初めは教わりながら、徐々に自ら学んでいけるように、共に頑張っていきましょう。皆様のご活躍を楽しみにしています。

研修医 岡田 祐介



私の勤務する腫瘍センターは、主に血液・固形がんの患者さんの化学療法や移植治療を専門とする病棟です。業務はもちろん楽しいことばかりではなく、つらく悲しいことも沢山ありました。それでも看護師を続けていられるのは、いつも明るくサポートして下さる先輩や同期の仲間、そして「あなたがいてくれて良かった」と言って下さった患者さんがいるからです。看護師として知識も技術も未熟ですが、とてもやりがいを感じています。4月から共に頑張りましょう!

看護師 坂本 唯

新採用のみなさんこんにちは。私は薬剤師として勤務しはじめて2年目になりました。先輩方の温かいフォローにより充実した毎日を過ごせています。たくさん学べて、やりがいや楽しさが経験できる職場です。

薬剤師が関わる業務が増えていく中で、薬剤師として何ができるか考えながら一緒に頑張っていきましょう。

薬剤師 春木 ちひろ



表紙について…

今回の特集「スチューデントドクター」の認定証授与式を行い、授与された学生全員で撮影した集合写真です（「スチューデントドクター」の詳細は、3ページの医学部長の記事をご参照ください）。

特集の医学部長からの記事にもありますが、学生達は地域のみなさまから、本当に多くのことを学ばせていただいております。学生達をどうぞあたたかく、そして時に厳しく、育てていただきたく、よろしくお願いいたします。



地域の方々に育まれ、成長してほしい



医学部長
おおたに ひろき
大谷 浩 先生

平 成27年度から島根大学医学部ではスチューデントドクター制度を開始します。これは、既に一部の大学で行っていたものを、今回全国の医学部、医科大学が協力して一斉に取り組むものです。

この「スチューデントドクター」について、本学医学部長から制度の内容、地域のみなさま、学生達への思いを聞きました。この記事を読んでいただくことにより、この制度を患者のみなさまのみならず、地域のみなさまに広くご理解をいただければ幸いです。

Q そもそもスチューデントドクターとは何ですか。

A スチューデントドクターとは、医学科生に与えられる資格のことです。

医学科生は5年生から「臨床実習」を行います。臨床実習では、実際に患者さんと対面し、診察や検査、カルテの書き方、コミュニケーションのとり方など、学生として許される範囲で「実習」することによって、大変多くのことを現場で学ばせていただきます。患者さんの診察に立ち合わせていただくのですから、学生とはいえ、当然に責任を自覚する必要があります。

この臨床実習に医学科生が臨む前段階として、4年生の後期に、全国統一の試験（共用試験といいます）を医学科生は受験し、統一基準で合格しなければなりません。これによって臨床実習に臨んでも問題ないスキルと知識を有しているという全国的なお墨付きを得ることになります。

合格した学生には「スチューデントドクター」という資格が与えられ、全国医学部長病院長会議から認定証を授与されます。このスチューデントドクター認定証を授与されることで、学生にはこれから行われる臨床実習に対して自信を持ってもらい、何より責任を自覚してもらいたいというのが、この制度の最大の狙いとなっています。



スチューデントドクター認定証

Q スチューデントドクターへの思いをお願いします。

A 臨床実習を学生が行うということは、患者さんとコミュニケーションをとることにより、多くのことを学ばせていただくこととなります。

私が一番にこの臨床実習に思うことは、実習を通じて「学生は地域のみなさまに育てていただいている」ということです。地域のみなさまから学ばせていただき、たくさんさんの経験をします。そして、あたたかく地域に育まれた医師になってもらうことを心から望んでいます。

患者さん、地域のみなさまには、どうぞこの臨床実習を行うスチューデントドクター達をあたたかく、そして時に厳しく育てていただければ幸甚に存じます。何卒よろしくお願いたします。

（取材：総務課広報担当）

「学ばせていただいている」ということを自覚して



赤川 理恵さん

秋好 瑞希さん

スチューデントドクター認定証を授与された学生にもインタビューしました。認定証を授与されて、その責任や、授与されたことでの決意や抱負などを聞きました。

Q スチューデントドクター制度について、学生の立場からどう思いますか。

A 何より、学生自身の意識を高めることができるという点があると思います。医学部長もおっしゃっていますが、学生といえども、患者さんに接して学ばせていただく以上、責任が伴うのは当然です。

もちろん、スチューデントドクター制度が始まる前にも臨床実習を先輩方は行ってこられました。先輩方も当然ながら責任感をもって実習を行ってこられていますが、認定証授与という制度ができたことで、より一層、責任感を自覚することになると思います。

Q 認定証を渡されました。改めて臨床実習に臨む上での決意や抱負をお願いします。

A 認定証をいただいたことで、共用試験を経て、一つ自分自身が進歩した、という自信はつきました。ただ、まだまだ学生という身分なので、臨床実習を通じて自分自身の研鑽に努めていきたいと思っています。

患者さんが心地よいと感じることができ、コミュニケーションのとり方、タイミングといったことに気を配れるよう考え、学んでいきたいと思っています。

(2人の熱い思いを聞き、すごく頼もしく感じました! 取材:総務課広報担当)

病院探検隊!

「手術部」編

今回の「病院探検隊!」は手術部を探検していただきました。過去最高参加者数の20名の方に普段は見られない手術室の中を探検していただきました。土曜日の開催ということもあり、小学生や高校生なども参加して下さり、とても充実した探検隊でした。案内役は、三原 美津江(みはら みづえ)手術部看護師長です。

1 手術室に入る前に。



手術室に入る前に、まずは準備をします。髪の毛用のカバーとシューズカバーのつけ方を看護師長からレクチャーがありました。

2 手術室1



ついに手術室の中へ!手術用のライトは「无影灯(おえいとう)」といって、その名のとおりに影が映らないようになっています。参加者のみなさん、本当に影が映らないのか、手をかざしたりして興味津々でした。

普段入る事がない場所で、非常に良い経験になりました!でも、高齢になるまで入る事がないようにしようと思います(笑)

参加者



4 手術室3



もう一部屋手術室へ。手術の際に使用する、部屋に設置されたタイマー(写真右上)を実際に動かし、臨場感を味わっていただきました。

- オペ室のシステム、医師、看護師の役割等詳しく知る事が出来ました!
- 細かく詳しく説明して頂き良かったです!

参加者

3 手術室2

これが「ダ・ヴィンチ」です



本院が誇る最新手術機器「ダ・ヴィンチ」のある手術室へ。ダ・ヴィンチを手術で使うことで、手術時の出血が少なくなる等、患者さんにかかる負担が非常に小さくなります。師長さんの説明を受けて、みなさん大変興味を持ってくださいました。

- ダ・ヴィンチをTVで見た事があり、じっさいに見ることができて良かったです!
- 想像以上に機械も大きく、沢山あり驚きました。日々進化する手術室にとっても興味を惹かれました!

参加者

病気の **まめ** 知識

リハビリテーション部
理学療法士

かわもと こうへい
川本 晃平



骨 粗しょう症を予防するための運動について

日本の骨粗しょう症患者は1,280万人と推定され、毎年97万人の新規発生があるとされています。この病気は骨の強度が低下するため、転倒などにより骨折をする危険性が高くなります。

運動をすることで骨密度減少の予防効果も認められており、更に転倒予防にもつながることから積極的に運動することが推奨されています。今回は自宅でできる2種類の運動をご紹介します。

1種類目は足腰の筋力増強運動です(写真1)。方法はいすに座って手すりなどを持ち、なるべく足腰の力を使って立ち上がります。これを1日10回3セット程度行います。

2種類目はバランス運動です(写真2)。方法は腕を体の横にし、片足立ちをします。不安定な場合は手すりなどを持って下さい。左右それぞれ1日3回、1分間程度行います。

痛みを感じたら無理をせず、徐々に回数や時間を増やすようにしてください。さらにこの運動以外にも普段からウォーキングなど体を動かす習慣を身につけることが大切です。



写真1



写真2



私のここだけの話

放射線部 看護師長
いとが
糸賀かおる

「我が家の残念な犬」

我が家では、10才になるハスキー犬「ネオ」を飼っています。これから先は、ネオの目を通して家族を紹介します。

まず、御主人は僕を毎日散歩に連れて行ってくれます。体格は大きいのですが、気弱で僕を叱ることができず、わがままを全て許してくれます。奥さんは気まぐれで、時々ちょっかいを出してきますが、僕はあまり乗り気ではありません。もう一人、おばあさんがいて食事の準備を毎日してくれ、一緒にいる時間は最も長いのですが、僕はあまり興味がありません。この家にやってきて体の大きい僕は、番犬としての役割を期待されたのですが、夏の暑さに弱い僕は、つつい腹を出して寝る癖がある事、お腹が空いた時しか鳴かないことから、番犬失格の烙印を押されています。元々争いを好まない僕は、猫とも仲良しです。

ところで最近の僕の悩みは、体重が増えつつあることです。毎年、フィラリアのお薬をもらいに動物病院へ行きます。そこで体重測定があるのですが、毎年、体重はうなぎ登り。先生からも食事を少し控えるように言われているのですが、「かわいそう」と御主人たちがそうしてくれませぬ。おかげで僕の体型は、犬ではなく、狸か猪のようになっています。こんな僕を見て、家族は「残念な犬」と言っています。でも僕も言いたい。「残念な犬」にしたのはいったい誰なんだと…。

NEWS &
ニュース&トピックス
TOPICS

一畑バス「出雲市内循環線バス」の乗り入れがスタート

かねてから本院の念願でありました、一畑バス「市内循環線」が平成27年4月1日から本院に乗り入れることになりました。

これは、患者さんの「県立中央病院と島根大学病院の相互乗り入れ」のご要望に応えるために、出雲市と一畑バスに要望しておりましたところ、この度、出雲市と一畑バスのご尽力により実現したものです。

これにより、県立中央病院と本院の2つの基幹病院の相互の連携強化並びに路線バスを利用して来院される患者さんにとって大変便利になります。

また、出雲市内各方面への移動が均一料金での運行となりますので、教職員、学生の皆さんにご利用いただきますようご案内いたします。



留学生から見た「出雲の不思議」

外国の方から見た「出雲の不思議」をお聞きました。今回はオーストラリアのメルボルン大学から交換留学生として来ていたロバートさんとダニエルさんに答えていただきました。

出雲に来てとても驚いたのは自動販売機であたたかい飲み物が購入できるということです。これは出雲にだけあるのではなく、日本全国にあると後で聞いて、とてもうらやましく思いました。オーストラリアにももちろん自動販売機はありますが、冷たい飲み物しか買うことができません。あたたかい飲み物が買えることが嬉しくて、大学内の自動販売機のあたたかい飲み物を、日替わりで順番に買って行って、ほとんど全部制覇してしまいました。

それから、オーストラリアでは生たまごは絶対に食べません。たまごの鮮度があまりよくないからです。なので、最初はお出雲の人がすき焼きで肉などを生たまごにつけて食べたり、たまごかけご飯を食べたりすることにとっても驚きました。これは出雲地方特有のものだと思っていましたが、日本人はみなそうするのだと後で知りました。最初食べてみてと言われた時はかなり抵抗がありましたが、勇気を出して食べてみるととてもおいしかったです。でもやっぱりオーストラリアでは生たまごを食べることはできないと思います・・・。



オーストラリア出身
ロバートさん(左)
ダニエルさん(右)

★オーストラリアではあたたかい飲み物が自動販売機で買えないなんてびっくりしました! (編集者)

イベントなどのお知らせ

▶ 島大病院「ちょっと気になる健康講座」を開催中!

島大病院には、専門知識を備えた、医師をはじめとする様々な職種の職員が医療・医事業務に携わっています。

本院に来院される患者さんや一般市民の方への少しばかりのサービス提供事業として、健康や医療に関するミニ講座を定期的に開催しています。お気軽にご参加ください。実施内容は下記のとおりです。



対象 患者さんほか一般市民 場所 外来1階 玄関待合ホール 時間 11:00~11:30

回数	月 日	担当	講師	テーマ
第70回	4月 2日(木)	産科	石原とも子	無痛分娩ってどんなもの?
第71回	4月 9日(木)	救命救急センター	仁科 雅良	救命救急センターのご紹介
第72回	4月16日(木)	腫瘍・血液内科	井上 政弥	貧血と言われたら
第73回	4月23日(木)	循環器内科	中村 琢	狭心症について
第74回	4月30日(木)	精神科神経科	長濱 道治	レビー小体型認知症について
第75回	5月 7日(木)	放射線科	中村 友則	あなたにもあるかも?閉塞性動脈硬化症
第76回	5月15日(金)	呼吸器外科	宮本 信宏	喫煙と健康被害
第77回	5月21日(木)	臨床研究センター(治験管理部門)	宇藤 幸子 志谷 美和子 渡部 真紀	ご存じですか? 治験(ちけん)について
第78回	5月25日(月)	小児外科	仲田 惣一	傷跡の残らない小児の手術
第79回	6月 4日(木)	環境生理学	紫藤 治	熱中症の予防について
第80回	6月 9日(火)	認知症疾患医療センター	安部 哲史	未定
第81回	6月18日(木)	産科	皆本 敏子	妊娠について
第82回	6月25日(木)	腎臓内科	未定	未定

▶ 病院ボランティアコンサート 開催予定

4月17日(金)19時より

● 邦舞会のみなさん

5月15日(金)19時より

● 安来節保存会斐川支部のみなさん

6月 5日(金)19時より

● 島根大学 弾き語りサークル スナフキン



開催場所: 玄関待合ホール

▶ いきいき健康講座「まめなかくらぶ」 放映予定(出雲ケーブルビジョン)

4月放送

泌尿器科 教授 椎名 浩昭
「高齢者の排尿管理」

5月放送

未定

6月放送

未定

▶ 誰でも参加出来る糖尿病教室

5月25日(月)

● 日本の夏、おいしい夏~夏の食事を考えよう~
平井 順子 管理栄養士
● なるほど運動のコツ ポイント7
伊藤 郁子 理学療法士

時間: 15時~16時(受付14:30~)

場所: 外来・中央診療棟3階「だんだん」
(病院正面玄関エレベーターから3階へ)

参加費無料!
予約不要です☆

● 出雲市乳がん検診、乳腺ドックを始めます。

乳腺・内分泌外科 百留 美樹

乳がんはここ30年で5倍に増加し、非常に身近な病気になっています。そのため、「友達が乳がんになったから心配になって」、「乳がんにかかった芸能人の体験談を聞いて」と、乳がん検診を希望される方が増えています。40歳以上の方が、検診を希望される場合、出雲市乳がん検診を少ない自己負担で受けていただくことができます。30代の方は、この対象となりませんので、ご自分でドックを受けていただくほかありません。しかし30代の乳がんは決して稀ではないのです。

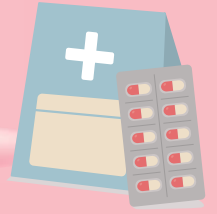
幅広い年代に対応するため、当院では、出雲市乳がん検診に加え、乳腺ドックを開始します。乳腺ドックは視触診とマンモグラフィを基本として、乳房超音波検査を行います。30代の方だけでなく、より精密な検査をご希望の方にもおすすめです。

出雲市乳がん健診	
日時	毎週木曜日 8時半~10時半
対象者	出雲市にお住まいの40歳以上の女性(隔年)
内容	視触診・マンモグラフィ(乳房超音波不可)
費用	40歳以上:1,230円 50歳以上:920円 70歳以上:無料 (40歳の方には無料クーポンがあります)
結果	約1ヶ月半後、出雲市から郵送されます。

附属病院乳腺ドック	
日時	毎週水曜日 8時半~10時半
対象者	ご希望の方
内容	視触診・マンモグラフィ・乳房超音波
費用	視触診+マンモグラフィ:6,825円 乳房超音波:3,780円 視触診+マンモグラフィ+乳房超音波:9,545円
結果	当日乳腺専門医による結果の説明があります。異常があった場合は、速やかに精密検査に移行します。



看護師募集!



入職時から研修スケジュールに基づいて
新人看護師の成長を支援します。

研修スケジュール

4月

- 新採用者入職時研修

5月

- チーム医療研修
- リフレッシュ研修

7月

- フィジカル
アセスメント研修
- 個人プログラム

9~11月

- シリンジポンプ・
輸液ポンプ研修
- 多重課題研修
- 宿泊研修
- 院内ローテーション
研修

12月

- “太鼓判”研修

これであなたも
大丈夫!!

2~3月

- 成長体験発表会



この一年間の集大成として、急変時の対応、採血、点滴管理、内服与薬の研修を行いました。

普段何気なく行っているケアの根拠を考え行動することが、患者さんの安全・安楽につながることを学びました。



発表会に参加した先輩職員の声



新人看護職員が、この1年の学びや、患者さんを通して日々成長したことを堂々と発表しました。先輩職員として、上手に指導できたことやできなかったことなどの振り返りを行い、新人のさらなる学びになるように今後も支援したいと思いました。また、「成長している」ということを伝えてあげることの大切さも、先輩職員として学ぶことができました。

インターンシップへご参加ください。

編集 後記

冬が終わり、春がやってきました。本号をご覧いただいている皆様の中にも、新しい環境になった方がいらっしゃるかと思います。

今回の記事の中に、先輩職員からのメッセージを掲載しました。新しい環境を乗り越え、たくましく成長していった先輩職員達の過程が、メッセージから読み取れ、とても頼もしく感じました。次号発行は7月です。

しろうさぎ

についてのお問い合わせ先

医学部総務課 企画調査係 広報担当

TEL : 0853-20-2018

E-mail : mga-kikaku@office.shimane-u.ac.jp